



2025年10月1日

各 位

会 社 名 福留ハム株式会社
代表者名 代表取締役社長 福原 治彦
(コード番号 2291 東証スタンダード市場)
問合せ先 経営管理本部長 梶原 勝
(TEL. 082-278-6161)

トリゼンフーズ株式会社及び双日食料株式会社との業務提携に関するお知らせ

当社は、2025年10月1日開催の取締役会において、トリゼンフーズ株式会社（以下、「トリゼンフーズ」といいます。）及び双日食料株式会社（以下、「双日食料」といい、当社及びトリゼンフーズと総称して、「当事会社3社」といいます。）との間で、それぞれの調達、製造、流通、販売機能を活かしつつ、クロスセル、新商品の開発、製造委託、共同営業、人材交流をはじめとする幅広い提携施策を協議、実現し、それぞれの企業価値向上を実現していくことを目的とした業務提携契約（以下、「本提携契約」といい、本提携契約に基づく業務提携を「本業務提携」といいます。）を締結することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 本業務提携の目的及び理由

本日現在、当社は、当社及び当社の連結子会社2社からなる企業グループ（以下、「当社グループ」といいます。）で構成され、当社グループは、加工食品事業及び食肉事業を行っております。当社グループの加工食品事業では、ハム、プレスハム、ソーセージ及び惣菜等を製造及び仕入・販売しており、また、食肉事業では、食肉及び食肉包装加工製品を製造及び仕入・販売しております。

当社グループは、「お客様第一」を経営理念として、「安心・安全・美味しさ・お役立ち」を追求し、ハム・ソーセージ等の分野において、高付加価値の製品を提供し顧客のニーズに応えることにより、社会に貢献することを基本方針としております。この社会的使命の達成に向けて努力し続けるとともに、事業の効率化、営業力の強化、競争力の強化や、収益力改善の取組みを通して、企業価値の向上に努め、お客様により大きな喜びと感動をご提供できるよう取組んでまいります。

本業務提携先であるトリゼンフーズは、「日本はもとより、世界に通じる味と品質」を理念として掲げ、「九州産華味鳥」を有し、一貫した生産体制のもと、高品質の商品とサービスの提供に取り組んでいます。

本業務提携先である双日食料は、畜産原料から畜産加工品まで畜産事業全般にわたる幅広い事業を手掛けております。特に、北米産冷凍牛肉においては日本に輸入される当該商品の約3割を取り扱っております。また、2017年には畜肉の原材料調達及び販売、畜肉加工、物流に関わる複数の企業と、安心、安全で美味しい畜肉加工品を、日本及び世界の消費者に競争力のある価格で提供することを目的としたマーケティング会社である株式会社ミートワン（以下、「ミートワン」）

といいます。)を設立しており、原料から加工品まで一貫して畜肉事業に取り組んでおります。

このような中で、食肉の領域として豚肉・牛肉、展開エリアとして中国・四国地方に強みを有する当社と、食肉の領域として鶏肉、展開エリアとしては全国にわたる一方で特に九州地方に強みを有するトリゼンフーズは、本業務提携を通じて、食肉の領域、展開エリアでの補完と協働を通じた成長及び高付加価値の商品の提供を目指すとともに、双日食料は、当社及びトリゼンフーズの強みである製造ノウハウ、西日本における広範な流通網を活用することで、日本国内における更なる畜産事業の拡大を実現することを目指しつつ、その東日本における販売力を活用し当社及びトリゼンフーズとのクロスセル、共同営業を行なうことにより、当事会社3社は、それぞれの企業価値向上を実現することが可能と考えるに至り、本提携契約を締結することといたしました。

以上の経緯により、本日、当事会社3社は、本提携契約を締結し、それぞれの調達、製造、流通、販売機能を活かしつつ、クロスセル、新商品の開発、製造委託、共同営業、人材交流をはじめとする幅広い提携施策を協議、実現し、それぞれの企業価値向上を実現していくことを目指します。

2. 本業務提携の内容

当事会社3社は、本業務提携において、以下の領域において協業を進めます。

(1) クロスセル

各社が培ってきた営業・物流機能を相互に活用して販売拡大を目指します。具体的には、東日本を中心とした双日食料及びミートワン並びに九州を中心としたトリゼンフーズの取引先に対する当社の取扱商品の販売、並びに、西日本を中心とした当社の取引先に対する双日食料及びトリゼンフーズの取扱商品の販売を計画しております。

(2) 新商品の共同開発

各社開発機能を相互に活用することで、各社が独自では成し得ない商品ラインナップの拡充を目指します。具体的には、当社が有するハム・ソーセージ類の食品加工技術及びトリゼンフーズが有する鶏加工品技術を活かした商品の開発（当社の新商品(自社ブランド商品)をトリゼンフーズと共同で開発、当社の新商品(OEM(※)商品)をトリゼンフーズ及び双日食料と共同で開発)を計画しております。

(※) Original Equipment Manufacturerの略称。他社のブランド名で販売される製品の製造をいう。

(3) 製造受託

トリゼンフーズ及び双日食料から当社に対して、当社の製造設備を活用した外食・量販店向けのプライベートブランド商品開発、製造及び販売を計画しております。

(4) 製造機能強化

当社においてトリゼンフーズ及び双日食料と共同開発した商品の製造を理由として、設備投資が必要となった場合に、両社において当社に対する自社技術の提供、人員の派遣及び資金面でのサポートの検討を行います。

(5) 原料調達

トリゼンフーズ及び双日食料が、両社が取り扱う競争力のある原料を当社に供給することを計画しております。

3. 本業務提携の相手先の概要

① トリゼンフーズ株式会社

(1)	名称	トリゼンフーズ株式会社		
(2)	所在地	福岡市博多区千代1丁目8番13号		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役会長 河津 善博 代表取締役社長 河津 英弘		
(4)	事業内容	食鳥肉卸・製造・販売		
(5)	資本金	30 百万円		
(6)	設立年月日	1987 年 3 月 3 日		
(7)	大株主及び持株比率	トリゼンホールディングス株式会社 100%		
(8)	当社と当該会社との関係			
	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	商品の仕入取引があります。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2022 年 9 月期	2023 年 9 月期	2024 年 9 月期
	純資産	849 百万円	1,006 百万円	1,143 百万円
	総資産	4,828 百万円	5,963 百万円	6,217 百万円
	当期純利益	98 百万円	157 百万円	137 百万円

② 双日食料株式会社

(1)	名称	双日食料株式会社		
(2)	所在地	東京都港区六本木3-1-1		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 小泉 豊		
(4)	事業内容	農畜水産原料、基礎原料、加工食品、その他各種食料品の輸出入及び国内売買		
(5)	資本金	4億12百万円		
(6)	設立年月日	1983 年 1 月 25 日		
(7)	大株主及び持株比率	双日株式会社 100%		
(8)	当社と当該会社との関係			
	資本関係	該当事項はありません。		
	人的関係	該当事項はありません。		
	取引関係	商品の販売取引があります。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態			
	決算期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
	純資産	19,808 百万円	21,489 百万円	21,893 百万円
	総資産	64,080 百万円	68,715 百万円	71,818 百万円
	売上高	129,910 百万円	131,427 百万円	144,956 百万円
	営業利益	3,134 百万円	3,962 百万円	4,094 百万円
	経常利益	3,595 百万円	4,267 百万円	4,117 百万円
	当期純利益	2,547 百万円	2,817 百万円	2,880 百万円

4. 日程

(1)	取締役会決議日	2025 年 10 月 1 日
(2)	契約締結日	2025 年 10 月 1 日
(3)	業務提携開始日	2025 年 10 月 1 日

5. 今後の見通し

当社は、当社の中長期間における企業価値向上を目的として、本業務提携に基づく施策を含む事業再構築計画を策定し、本日付けで「事業再構築計画の策定及び通期連結業績予想に関するお知らせ」（以下、「事業再構築計画策定等プレスリリース」といいます。）を公表しております。2026年3月期～2029年3月期の連結業績目標については事業再構築計画策定等プレスリリースをご参照ください。

以 上